

# LegalOS 機能資料

## 30日無料トライアル版

契約審査を、個人の判断から、組織の運用へ。

資料名	LegalOS 機能資料   30日無料トライアル版
対象読者	中小企業・ひとり法務・兼務法務・管理部門のご担当者
製品形態	Windows デスクトップアプリケーション
利用形態	30 日無料トライアル（クレジットカード登録不要・自動課金なし）
最終更新	2026-04-30

## 1. LegalOSとは

LegalOS は、契約案件の 受付・進捗・版管理・差戻し・承認・判断記録 を、案件単位で一本化する Windows デスクトップアプリです。

### 3 つの特徴

1. 案件番号で 1 本化：受付から完了まで、すべての記録が同じ案件番号に紐付きます。
2. 役割別画面：営業・法務・法務責任者・決裁者・監査・管理者の 6 ロールに最適化されています。
3. オフライン完結：すべての処理が導入先のローカル環境で完結します。クラウド通信は行いません。

### AI レビューツールとの違い

LegalOS は AI レビュー単体ツールではありません。

- ・ AI レビュー単体ツール：契約条項のリスクを自動指摘するツール
- ・ LegalOS：契約案件を受付から承認・記録まで運用基盤に乗せるツール

両者は競合せず、併用できます。LegalOS は AI レビューの 前後の運用全体 を担います。

## 2. 導入前と導入後

LegalOS を導入すると、契約審査の運用がどう変わるかを示します。

### 導入前

メール・Excel・チャット・ファイルサーバーに情報が分散しています。

- ・ 依頼はメール・チャットで個別担当者に届く
- ・ 版管理はファイル名で（契約書\_v2\_最終\_修正版.docx）
- ・ 差戻し理由はメールスレッドの中
- ・ 承認はメール上での「OK です」
- ・ 監査は個人のフォルダと記憶頼み

### 導入後

契約案件単位で、受付・版管理・差戻し・承認・判断記録が一本化されます。

- ・ 依頼は案件番号として役割キューに並ぶ
- ・ 版番号と用途種別が自動採番される
- ・ 差戻し理由は構造化されて記録される
- ・ 承認は 3 択（承認・条件付・非承認）と理由コメントで記録される
- ・ 監査ログは操作の副産物として自動蓄積される

### 3. LegalOS が解決する 6 つの課題

#	課題	LegalOS の解決
1	属人化：担当不在で進捗が止まる	役割キュー型の配信。誰でも続きから進められる
2	進捗不透明：「あの契約どうなった？」	ステータスをホーム画面のカードで常時可視化
3	ファイル版の混乱：最終_修正_最終	版番号の自動採番 + 用途種別
4	差戻し履歴の散逸：理由がスレッド埋没	差戻し理由を 3 種から選択し構造化記録
5	承認記録なし：なぜ承認されたか不明	承認 3 択 + 理由コメント + 稟議資料を自動生成
6	監査・引き継ぎ不能：個人依存	操作ログを自動記録、監査ロールが横断閲覧

## 4. 主要機能（3つの軸で整理）

LegalOS の機能は、性格の異なる 3 つの軸で整理できます。

- ・ A. コア機能：契約審査運用そのものを支える
- ・ B. 管理・統制機能：セキュリティ・監査を支える
- ・ C. 運用支援機能：日常運用を快適にする

### A. コア機能 | 契約審査運用の中核

受付から決裁まで、業務フローを直接支える機能群です。

機能	状態	概要
契約案件登録	実装済	営業が契約類型・相手方・期限・機密区分を指定して起票
ステータス管理	実装済	受付・法務確認・差戻し・承認待ち・完了の状態遷移を機械化
契約書版管理	実装済	版番号の自動採番と用途別ファイル種別による履歴管理
補助資料添付	実装済	営業・法務双方から本文版とは別枠で参考資料を添付
差戻し・再提出	実装済	差戻し理由と再提出種別を構造化して記録
法務責任者確認	実装済	責任者が確認のうえ決裁者へ回付・取下げ可能
中間・最終決裁	実装済	4 種類の承認経路に対応した多段決裁
条件付承認・否認	実装済	承認・条件付・非承認の 3 択と理由コメントを記録
決裁メモ出力	実装済	案件情報と判断結果から Word・PDF の稟議資料を生成

### B. 管理・統制機能 | セキュリティと監査

組織として運用する以上、欠かせない統制機能群です。

機能	状態	概要
操作ログ・監査証跡	実装済	ログイン・開封・遷移・承認・出力を自動記録
ユーザー・役割管理	実装済	6 ロールの任意組み合わせ。兼務にも対応
保存フォルダ・権限制御	実装済	案件フォルダを 5 エリアに分離し役割別アクセス制御
機密案件分離	実装済	一般案件と機密案件を別ストレージルートに分離保管

### C. 運用支援機能 | 日常運用を支える

実務で「あって良かった」を支える機能群です。

機能	状態	概要
法務コメント	実装済（基本）	案件メモと返却コメントによる蓄積
案件検索・絞り込み	実装済（基本）	検索バーとカード別フィルタで一覧絞り込み
バックアップ・復元	実装済	軽量モードと、ファイル含むフルモードの 2 種類

監査チェックリスト	実装済（基本）	案件単位の監査フラグ集計と監査ホーム表示
ファイル既読管理	実装済	ファイル単位の既読・未読と新着把握

## D. ライセンス

機能	状態	概要
30 日無料トライアル制御	実装済	期限到達時のライセンスキー入力。クラウド通信なし

## 機能の補足

### 4 種類の承認経路

組織のサイズに合わせて、以下の 4 種類から選べます。

- ・ フル承認：法務担当 → 法務責任者 → 決裁者
- ・ 責任者スキップ：法務担当 → 決裁者
- ・ 責任者のみ：法務担当 → 法務責任者
- ・ 決裁者なし：法務担当のみ

ひとり法務・兼務法務の場合は「決裁者なし」または「責任者のみ」で運用できます。

### 保存フォルダの 5 エリア

各案件フォルダは以下の構造で自動作成されます。エリアごとに役割別アクセス制御が働きます。

- ・ 00\_Request：営業が提出した受付資料
- ・ 10\_Legal\_Working：法務作業中ファイル
- ・ 20\_Legal\_Return：法務から営業への返却物
- ・ 30\_Approval：決裁関連ファイル
- ・ 90\_Log：メタデータ・スナップショット

### 現バージョンで未対応・今後対応予定

LegalOS は試験導入段階の製品です。以下は 今後対応予定 です。

- ・ 版間 diff の画面表示：版番号の紐付けは実装済、差分表示は未実装
- ・ 法務⇄営業のスレッド型コメント：基本のメモ機能は実装済、チャット型 UI は未実装
- ・ Audit Pack ZIP 出力：チェックリスト・フラグ集計は実装済、ZIP 書き出しは未実装
- ・ 複合検索条件：基本検索は実装済、複数条件 UI は未実装
- ・ 既存 Excel からの一括インポート：v1.0.5 時点で未実装

設計方針上の制約として、個人単位の案件アサインは行いません（少人数法務を前提としたロールキュー型）。

## 5. 役割別の使い方

LegalOS は 6 ロールに最適化された画面を持ちます。1 ユーザーに複数ロールを兼務させることもできます。

### 5.1 営業担当者（依頼者）

- ・ できること：契約レビュー依頼の登録、自分の案件の進捗確認、差戻し対応・再提出
- ・ 見える情報：自分が提出した案件のみ

### 5.2 法務担当者

- ・ できること：案件の受付・レビュー、修正版アップロード、営業への差戻し（理由を種から選択）、責任者への回付、補助資料の追加
- ・ 見える情報：全社の法務案件一覧（自分担当に限らず未対応分を含む）

3

### 5.3 法務責任者

- ・ できること：法務担当の作業確認のうえ決裁者へ回付、案件の直接着手、決裁依頼の取下げ、法務担当への差戻し
- ・ 見える情報：全社の法務案件と、法務担当の作業状況

### 5.4 中間決裁者・最終決裁者

「中間」と「最終」は承認経路上の段階の違いで、同じ「決裁者」ロールで運用されます。

- ・ できること：自分の決裁待ち案件の確認、3 択判断（承認・条件付・非承認）、理由コメント記録、決裁メモ出力
- ・ 見える情報：自分の決裁待ち案件と、その経緯（差戻し履歴・法務コメント・契約書版）

### 5.5 監査担当者

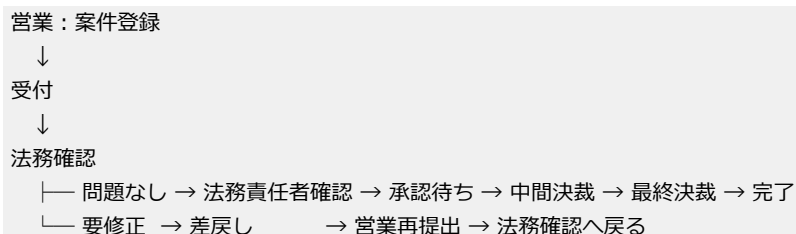
- ・ できること：監査ログの閲覧、案件単位の監査チェックリスト確認、監査フラグの集計表示
- ・ 見える情報：全社の案件と監査ログ

### 5.6 システム管理者

- ・ できること：ユーザーの追加・編集・無効化・パスワードリセット・ロック解除、部署管理、承認経路の設定、バックアップ・復元の実行
- ・ 見える情報：ユーザー一覧・部署一覧・全件の認証監査ログ

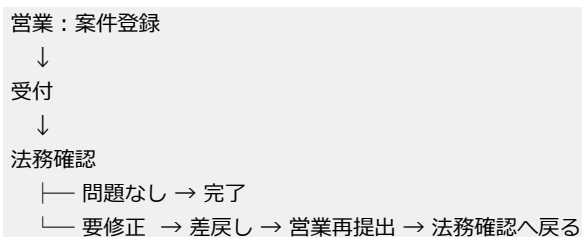
## 6. 契約審査フロー

### 6.1 標準フロー（フル承認経路）



中間・最終決裁では、それぞれ  
3  
択（承認・条件付承認・非承認）で判断します。条件付・非承認の場合は営業へ差戻しとなります。

### 6.2 ひとり法務・兼務法務向けフロー（決裁者なし）



### 6.3 各ステップで自動的に残るもの

ステップ	残る情報
案件登録	案件番号・契約類型・相手方・期限・機密区分
法務確認	担当者・修正版・コメント
差戻し	差戻し理由・コメント
再提出	再提出種別・更新ファイル
責任者確認	確認者・回付先・コメント
承認	判断（3 択）・判断者・時刻・理由
完了	最終承認者・時刻・決裁メモ

これらは 意識的に書き写す必要はありません。操作の副産物として記録されます。

## 7. 30 日無料トライアルでできること

### 7.1 利用範囲：機能制限なし

本資料 4 章で「実装済」と記載した すべての中核機能 を、トライアル版でも利用できます。

### 7.2 申込から起動まで（4 ステップ）

1. 配布パッケージ（ZIP）をダウンロードし、任意のフォルダに展開
2. LegalOS.exe を起動
3. 初回セットアップウィザード（保存先 → 会社情報 → 初期部署 → 管理者アカウント）に入力
4. ログインして、即座に案件登録から運用開始

クレジットカードの登録は不要です。

### 7.3 トライアル期間と課金

- ・ 期間：30 日間
- ・ 自動課金：一切なし
- ・ 期限到達時の挙動：起動時にライセンスキー入力画面が表示
- ・ 継続しない場合：そのまま終了。データはローカルに保持

### 7.4 30 日で何を試せばよいか

LegalOS は「実際に動く 1～2 件の契約案件」で試するのが最短です。

- ・ 試すこと 1：直近の契約レビュー依頼を 1 件、受付から完了まで通す
- ・ 試すこと 2：差戻しが発生した案件で、再提出まで運用する

これだけで、自社の運用にフィットするかは判断できます。

## 8. 既存運用との比較

### 8.1 既存運用との違い（観点別）

観点	既存運用	LegalOS
一元受付	散在	役割別ホーム
版管理	ファイル名頼み	自動採番+種別
差戻し履歴	スレッド埋没	構造化記録
判断理由	文中に散在	3 択+理由欄
役割別動線	なし	6 ロール画面
承認記録	メール承認	ステータス機械化
監査・引き継ぎ	個人依存	監査ログ自動

「既存運用」とは、メール・Excel・チャットを組み合わせた一般的な運用を指します。

### 8.2 AI レビュー単体ツール／案件台帳との関係

両者と LegalOS は競合しません。

- ・ AI レビュー単体ツールは、契約条項のリスク発見が得意です。LegalOS の中で AI レビュー結果を補助資料として添付できます。
- ・ 案件台帳スプレッドシートは導入が容易です。一方で、版管理・差戻し履歴・判断理由は手動転記が必要です。LegalOS は同じ情報を操作の副産物として自動記録します。

## 9. 導入前チェックリスト

以下の 5 問のうち、3 つ以上が「いいえ」または「曖昧」であれば、LegalOS の導入で改善できる余地が高い状態です。

- 契約案件を どこで 受け付けているか即答できますか
- 「契約書の最新版はどれか」を、ファイル名を見ずに判定できますか
- 過去 3 ヶ月の 差戻し理由 が記録されていますか
- 過去 3 ヶ月の 承認理由 が記録されていますか
- 法務担当者が 1 週間不在でも、業務が止まらない仕組みがありますか

## 10. FAQ

Q1. 無料トライアルでどこまで使えますか

本資料 4 章で「実装済」と記載した中核機能はすべて利用できます。機能制限はありません。

Q2. 無料期間が終わったらどうなりますか

起動時にライセンスキー入力画面が表示されます。自動課金は発生しません。  
継続する場合のみキーをご購入ください。

Q3. 自動課金はありますか

ありません。クレジットカード情報を頂戴していないため、料金が発生することはありません。

Q4. AI レビューツールとの違いは何ですか

AI レビューは契約書の問題点を指摘するツール、LegalOS は契約案件を運用基盤に乗せるツールです。両者は併用できます。

Q5. 法務担当者がいない会社でも使えますか

使えます。「決裁者なし」モードがあり、ひとり法務・兼務法務での運用を想定しています。

Q6. 既存の Excel 案件台帳から移行できますか

v1.0.5

時点では一括インポート機能はありません。新規案件から運用を開始し、既存案件は併走させる運用を推奨します。  
一括インポートは今後対応予定です。

Q7. セキュリティ面はどうなっていますか

パスワード 8 文字以上、5 回連続失敗で 15 分ロックアウト、無操作 15 分で自動ログアウト、操作の監査ログ記録、機密案件と一般案件の分離保管、ロール別アクセス制御を実装しています。すべての処理はローカル環境内で完結し、クラウド送信もインターネット接続も不要です。

Q8. 本番利用前に相談できますか

はい。トライアル期間中の運用相談・本番利用に向けたカスタマイズ相談を承ります。LP 上のお問い合わせフォームよりご連絡ください。

Q9. 共有ドライブで複数人で使えますか

可能です。設定ファイルの保存先を SMB 共有ドライブの UNC パスに設定すれば、複数ユーザーで案件データを共有できます。EXE は各ユーザーのローカルへ配置することを推奨します。

Q10. データのバックアップはどう取りますか

管理画面の「バックアップ」タブから手動で取得できます。軽量モード（DB+設定）とフルモード（案件ファイル含む）の2種類があり、復元は二段階確認方式で誤操作を防ぎます。

## 巻末：実装状況の表記について

表記	意味
実装済	v1.0.5 時点で動作確認されている
実装済（基本）	基本機能は動作。一部の高度な UI・機能は今後対応予定
今後対応予定	v1.0.5 では未実装でロードマップに含まれる

### LegalOS

は試験導入段階の製品です。実務に投入していただきながら、フィードバックを反映して継続的に改善しています。



# 目次

LegalOS 機能資料	1
30日無料トライアル版	1
1. LegalOSとは	2
2. 導入前と導入後	3
3. LegalOS が解決する 6 つの課題	4
4. 主要機能（3 つの軸で整理）	5
5. 役割別の使い方	7
6. 契約審査フロー	8
7. 30 日無料トライアルでできること	9
8. 既存運用との比較	10
9. 導入前チェックリスト	11
10. FAQ	12
巻末：実装状況の表記について	14